平成２８年度　　事務事業評価シート

章	9	その他の事業
節	－	－
施策	－	－
目標		－

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、箇数名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H26決算	H27決算	H28予算	H29予算案	H30予算案	H31予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間（H24～H27）及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H29以降】
1	－	幌別駅自由通路耐震補強事業負担金	総務部	契約・管財G	H25	H28	ソフト	一般会計		ＪＲ利用者並びに幌別駅自由通路利用者の安全性、併せて列車運行の安全性を確保することを目的とする。	H26	JR利用者並びに幌別駅自由通路利用者	JR北海道の都合により未実施	建築物の耐震改修の促進に関する法律	【耐震指標判定】地震の震動及び挙動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性についての判定 判定1：危険性が高い 判定2：危険性がある 判定3：危険性が低い	判定	2	2	3	－	－	－	国庫支出金							H26以前	JR北海道と事業実施に向けた調整を実施	終了	地震発生時における旅客等の人命確保及び列車運行の安全性の確保並びに通行者の安全性が確保されることから、平成２８年度で事業を終了する。	平成２８年度で事業終了。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	JR北海道が駅舎と自由通路を併せた耐震補強工事を実施し、登別市が管理している自由通路分を床面積割合等で費用負担を行った。 また、屋上防水塗装、内外装改修等を実施し、公共施設の長寿命化を図った。	上記のとおり								地方債			20,900	31,300			H27	上記のとおり			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
											H28	上記のとおり	上記内容は、JR北海道の都合により平成２７年度中に一部工程が終了しなかったことから、平成２８年度においても引き続き実施する。 平成２８年３月３０日繰越決定 （平成２７年度一般会計補正予算（第８号））	上記のとおり								一般財源			6,988	10,532			H28	上記のとおり			
		99999174																					合　計		0	27,888	41,832	0	0	0					
2	－	地方公会計関係経費	総務部	財政G	H27	－	ソフト	一般会計		国が示す統一的な基準による地方公会計の整備を進めることにより、財政マネジメントの強化を図ることを目的とする。	H26				固定資産台帳の整備状況 判定1：完了 判定2：未完了	判定	-	1	1	1	1	1	国庫支出金							H26以前		維持	統一的な基準による地方公会計の整備は国よりすべての地方公共団体に要請されているものであり、また、本地方公会計制度は公共サービスに関する情報の透明性の確保や財政マネジメント強化に資するものであることから、財務書類の作成に向け継続する必要がある。	平成29年度以降において、統一的な基準による財務書類を作成・公表する。
																							道支出金												
											H27	市民	公認会計士の業務支援を受けながら、統一的な基準による財務書類の作成に向け、その補助簿となる固定資産台帳を整備した。	平成27年1月23日付け総務大臣通知「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」								地方債							H27	業務支援を受ける公認会計士や庁内関係職員と課題点等について随時協議を行いながら、固定資産台帳の整備にあたった。			
															統一的な基準による財務書類（平成28年度以降の各年度決算ベース）の作成・公表状況 判定1：完了 判定2：未完了	判定	－	－	－	1	1	1	その他												
											H28	上記のとおり	公認会計士の業務支援を受けながら、統一的な基準による財務書類の作成に向け、その補助簿となる固定資産台帳の管理更新を行うとともに、資産・負債情報の整理のほか、システム対応等の取組を進める。	上記のとおり								一般財源			5,940	6,036	3,888		H28	平成27年度同様、業務支援を受ける公認会計士や庁内関係職員と課題点等について随時協議を行いながら、関係事務を進める。			
		99999216																					合　計		0	5,940	6,036	3,888	0	0					
3	－	市税等賦課経費（資産税）※家屋評価支援システムリース更新分	市民生活部	税務G	－	－	ソフト	一般会計		固定資産税の賦課業務において、限られた人員のもと迅速かつ適正・公平な家屋評価を行うことを目的とする。	H26	納税義務者	固定資産税の対象となる新・増築された家屋の評価調書や平面図を、当該システムで作成し、保存する。	地方税法、固定資産評価基準	家屋評価件数	件	378	387	390	390	390	390	国庫支出金							H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業における家屋評価は、地方税法及び固定資産評価基準で定められており、本市が主体に行うべきものである。 家屋評価支援システムについては、平成９年度に導入以来、本市の家屋評価運用基準に応じ最適なカスタマイズがなされてきており、現在限られた人員のもと迅速かつ適正・公平な家屋評価を行うことを可能としていることから、今後も必要と思われる。 ※現行の契約期間　平成２７年４月１日から平成３２年３月３１日まで（債務負担行為設定期間　平成２８年度から平成３１年度まで）	効率性（低予算、少労力）の観点から、他の家屋評価支援システムの導入を、現行の契約最終年度（平成３１年度）に検討する。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり										地方債							H27	上記のとおり			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
											H28	上記のとおり	上記のとおり										一般財源		1,839	1,284	1,284	1,284	1,284	1,284	H28	上記のとおり			
		99999227																					合　計		1,839	1,284	1,284	1,284	1,284	1,284					
4	－	美園分遣所解体事業	消防	総務G（消防）	H27	H27	ハード	一般会計		効率的かつ効果的な消防体制の構築を図ることを目的とする。	H26		効率的かつ効果的な消防体制の構築を図るため将来の消防力のあり方を検討した結果、美園分遣所機能を廃止することとした。		棟	－	－	1	－	－	－	－	国庫支出金							H26以前		終了	効率的かつ効果的な消防体制の構築を図った。	平成２７年度にて事業終了。
																							道支出金												
											H27	市民	老朽化の著しい美園分遣所を解体した。	－									地方債							H27	美園分遣所機能を廃止、老朽化が著しいため解体した。			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
											H28												一般財源			4,817					H28				
		99999333																					合　計		0	4,817	0	0	0	0					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】 名称		H26決算	H27決算	H28予算	H29予算案	H30予算案	H31予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間（H24～H27）及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H29以降】
5	－	消込業務用ＯＣＲ機更新事業 99999334	会計室	会計G	H27	H27	ソフト	一般会計		今般、更新する消込業務用ＯＣＲ機については、西いぶり広域連合より貸与されている機器であるが、これの保守管理については平成27年3月までとなっており、この機械は市収納金の計込業務には不可欠なものであることから新たに更新するこのである。	H26				ＯＣＲ機による収納日のデータ化	－	－	100%	－	－	－	－	国庫支出金								H26以前		終了		
																							道支出金													
											H27		ＯＣＲ機器の更新。このＯＣＲ機は、金融機関において収納した領収印の日付を読み取り可能仕様で、これにより、市の収納日と金融機関の収納日のデータを持つことが可能なことから市税等の延滞金を計算するうえで、今まで手作業で日にちの特定を行い起算日の算出に時間を要していたものが軽減されるものである。これによって、市収納金の金融機関収納日のデータ化が行われる。								地方債								H27	当初事業内容のとおり完了			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
											H28												一般財源			3,000					H28					
																							合 計		0	3,000	0	0	0	0						
6	－	北海道日本ハムファイターズ応援大使事業 99999337	総務部	企画調整G	H27	H27	ソフト	一般会計		プロ野球の北海道日本ハムファイターズ2015年登別市応援大使（中島卓也選手、岡大海選手）の取組を活用し本市のＰＲを行うとともに、選手との交流などによる青少年の健全育成を図ることを目的とする。	H26				応援観戦ツアー参加者数	人	－	129	－	－	－	－	国庫支出金								H26以前		終了	平成２７年度をもって事業を終了した。	
																							道支出金	地域づくり総合交付金		194										
											H27	市民及び市内の小学校に通学する児童	ファイターズと連携して次の事業を実施した。 【主な事業内容】 ・ファイターズ主催試合における市民を対象とした応援観戦ツアーの実施。 ・ファイターズが企画するご当地グルメイベント「なまらうまいっしょグランプリ」への出店。 ・市内小学校を対象とした選手とのSkype交流の実施。 ・応援大使訪問による交流会（トークショー）の実施。 ・市内小中学校及び高等学校への応援大使直筆サイン入り限定ユニフォームの展示。								地方債								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																							その他													
											H28				トークショー参加者数	人	－	286	－	－	－	－	一般財源			267					H28					
																							合 計		0	461	0	0	0	0						
7	－	登別市総合戦略策定事業（地方創生先行型） 99999338	総務部	企画調整G	H27	H27	ソフト	一般会計		「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」に必要なデータ収集等の調査事務について調査機関に委託することにより、登別市の安定した雇用の創出や人の流れ、若い世代の結婚・出産・子育てに関する支援等を盛り込んだ「登別市総合戦略」を策定することを目的とする。	H26				アンケート回収件数	件	－	1,403	－	－	－	－	国庫支出金	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）		6,740					H26以前		終了	平成２７年度をもって事業を終了した。	
																							道支出金													
											H27	市民	過去の人口動態などの分析や地域課題・ニーズの掘り起しをはじめ、次の業務について委託し調査・分析を行った。 【事業内容】 ・人口構造、自然及び社会増減に係る現状及び将来見通しに関する調査 ・人口動態や市内の産業構造、雇用の現状及び将来見通しに係る調査 ・施策展開に寄与するアンケート調査及び総合戦略に向けた策定支援	まち・ひと・しごと創生法							地方債								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
											H28												一般財源								H28					
																							合 計		0	6,740	0	0	0	0						
8	－	庁舎等改修事業 99999341	総務部	総務G	H27	H27	ソフト	一般会計		高齢・介護グループ執務室及び消防署仮眠室として使用している第二庁舎1階増築部分の床が傾いたことにより、危険な状態になったことから、庁舎等の改修を行い、来庁者及び職員の安全を確保することを目的とする。	H26				－	－	－	－	－	－	－	－	国庫支出金								H26以前		終了	改修が完了し、事業目的が達成されたことから、事業を終了する。	平成27年度で事業終了
																							道支出金													
											H27		高齢・介護グループ執務室及び消防署仮眠室として使用している第二庁舎1階増築部分の床が傾いたことにより、危険な状態になったことから、庁舎等の改修を行った。 ・高齢・介護グループ執務室を本庁舎3階の観光経済部執務室に移動するとともに、観光経済部執務室を登別中央ショッピングセンターアーニスの空き店舗に移動した。 ・消防署仮眠室を選挙管理委員会事務局執務室の一部を改修して利用した。 ・選挙管理委員会事務局執務室を水道グループ会議室兼資材庫及びレセプト点検室を改修して利用した。								地方債								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																							その他													
											H28				－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源			9,624					H28					
																							合 計		0	9,624	0	0	0	0						